

PINK CUP2018 における主催者報告書

大会実行委員長 山縣 宥介

・はじめに

まず今回 PINK CUP2018 を無事終了することができたことを嬉しく思うとともに、ご協力してくださった多くの方々に感謝申し上げます。改めて大会当日の様子などを報告させていただきます。

・大会当日の様子

ー1日目ー

大会1日目の気候は前日の予報通り一日を通し北東風であったが、微風であったため午前中は数名がタイミングを見てテイクオフすることが出来ました。昼頃あたりから徐々に陽が出てきたことで正面からサーマルブローが入りほとんどの選手がテイクオフすることが出来ました。その中でも良い条件のもとテイクオフできた人の内、2時間近くのパイロンまたは全てのパイロンを回る人も。数名がこの日飛ぶことが出来なかったが、無事競技は成立いたしました。

ー2日目ー

大会2日目は1日目より条件が悪くほとんどサーマルは出ず北東風と予想されたため、相談の結果1日目のフライトが叶わなかった選手を優先的に出しました。2日目スタッフのため残念ながら1名ほど飛べない人がいたが、ほとんどの選手が飛ぶことが出来ました。このことは草大会ならではのできたことであるため非常に良かったと思います。

実際には1日目ほどではないが、サーマルも出て競技は成立しました。また、気温の上昇が大きくなかったために正午あたりまで逆転層が取れず微フォローの中競技を行い午後になるにつれてP証のみ競技可能となりました。

・最後に

大会を通して完全にタイミング勝負であったが、2日間とも競技を成立することが何よりも喜ばしく思います。ピンクカップは社会人と学生がパラグライダー、ハングライダーの垣根を越え交流出来る素晴らしい大会だと実感でき、このような貴重な大会を運営出来たことを誇りに思います。

個人戦結果

優勝 荒井大悟選手

準優勝 田原佳歩選手

3位 若杉厚志選手

団体戦結果

優勝 Aチーム

芳賀亮太選手、板橋宏樹選手、小椋溪太選手、大陽智仁選手、畔柳大樹選手、豊田尋土選手、田原佳歩選手、若杉厚志選手

